

(公財) 全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部 内規及び申し合わせ事項 (全国高校選抜大会用)

(公財) 全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部

「2023 年度競技規則」・「2023-2024 T O 競技ハンドブック」・「新競技規則に関するガイドライン (G K 頭部・スローオフエリア・解釈追加)」は必ず熟読をお願いします。

1 大会参加上の注意 (大会実施要項「参加資格」参照)

- ①参加登録人数はチーム役員4名 (監督1名、役員3名とし引率責任者を含む。また生徒役員は2名までとする。)・選手16名 (16名出場可) までとする。ただし、ベンチ入りに際して役員4名及び選手は、(公財) 日本ハンドボール協会に登録 (区分は高校) され、大会申込書及びプログラムに記載されている者であること。なお、協会登録証を持っていることとする。
- ②参加申し込み後にやむを得ない事情により役員・選手を変更する場合は、必要書類を大会事務局宛に提出しなければならない。
- ③外国人留学生の参加は、大会登録選手16名のうち2名までとし、競技出場は7名中1名とする。
- ④同一学年での出場は1回限りとする。
- ⑤チームを編成する場合は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- ⑥統廃合の対象となる学校、及び、部員不足に伴う複数校合同チームによる大会参加を認める。

2 役員・選手の留意事項 (チーム責任者が徹底する)

- ①大会期間中の言動及び服装は役員として品位と節度あるものとする。ベンチに入る際はスポーツウエアーまたは平服を着用し、体育館シューズを履くこと。また、チーム役員4名は必ず指定のIDカードを身につけること。
チーム役員は、相手チームのコートプレーヤーとはっきり区別できる服装とする。
- ②服装について
 - ・コートプレーヤーは、長ズボン、タイツ、長いサイクリングパンツ等は原則使用できない。
ただし、短パンと同色であれば、医療的配慮、低気温等に防寒対策を目的とした長ズボン、タイツ、長いサイクリングパンツ等、複数の部位を覆うものの使用を認める。
 - ・アームスリーブはユニフォームで使用されている色であれば使用できる。(チームでは統一した色)
 - ・サイクリングパンツは短パンの大部分を占めている色と同色であれば使用できる。
 - ・ふくらはぎの装具は、靴下と同色であること。
 - ・足首の装具は、同色でなくても良い。
 - ・肘や膝の装具の色は問わない。
- ③リストバンドについて
 - ・リストバンドは粘着性がなく、柔らかく、薄手のものであれば使用できる。
ユニフォームと同色で無くても良い。
- ④肘や膝の装具について
 - ・固い部分がむき出しになっている装具は使用できない。
- ⑤ヘアバンドについて
 - ・ゴムバンド式で薄く幅広くないものは認める。
 - ・はちまきは、結び目からたれている部分が短くなっており、使用に支障がなければ使用を認める。
使用の可否は、試合前のトスで確認し決定する。
- ⑥めがね・ゴーグルについて
 - ・スポーツめがねやゴーグルは、スポーツ用のバンドがあり、平らなプラスチックレンズで、フレーム上部がシリコンなど柔らかい材質であれば認める。固いフレームかどうか判断しにくい場合は必ず代表者会議に持参し許可を得ること。
- ⑦ユニフォームの調整ができない場合は、チーム番号の大きいチームが変更する。
- ⑧ゲーム開始前に公式記録用紙に確認のサインをすること。

3 応援について

①チーム横断幕等は、競技運営に支障があるため、ゴールエリアの後方に張ることを禁止する。なお、その他の場所においても自チームの試合終了後は速やかに撤去すること。

4 使用球について

(公財)日本ハンドボール協会検定球(人工皮革)を使用する。
ボールの空気圧は、各試合前にTO、レフェリー、チーム役員の協議によって決定する。

(1) 奇数年度(令和5年)男子		女子	(2) 偶数年度		男子	女子
第1日目	・・・モルテン	ミカサ	第1日目	・・・ミカサ	モルテン	モルテン
第2日目	・・・ミカサ	モルテン	第2日目	・・・モルテン	ミカサ	ミカサ
第3日目	・・・モルテン	ミカサ	第3日目	・・・ミカサ	モルテン	モルテン
準々決勝	・・・ミカサ	モルテン	準々決勝	・・・モルテン	ミカサ	ミカサ
準決勝	・・・モルテン	ミカサ	準決勝	・・・ミカサ	モルテン	モルテン
決勝	・・・ミカサ	モルテン	決勝	・・・モルテン	ミカサ	ミカサ

5 チームトレーナー・ドクター及び通訳について

①チーム役員(4名)としてベンチに入ることを原則とするが、やむを得ず役員以外として希望する場合は、別紙「役員外参加届」を指定された開催地事務局へ締切日までに提出すること。(1名とする)
また、届け出をして許可された者は、本部が指定した場所に着席しなければならない。なお、治療等はTDにチーム責任者が申し出て、ベンチ後方で行うこととする。ベンチへの立ち入りはできない。

6 その他

①突発的事象が発生した場合は、本部役員(開催地実行委員会・全国高体連専門部)の指示に従うこと。
②体育館内の電源を携帯電話・ビデオのバッテリー充電等に使用しないこと。